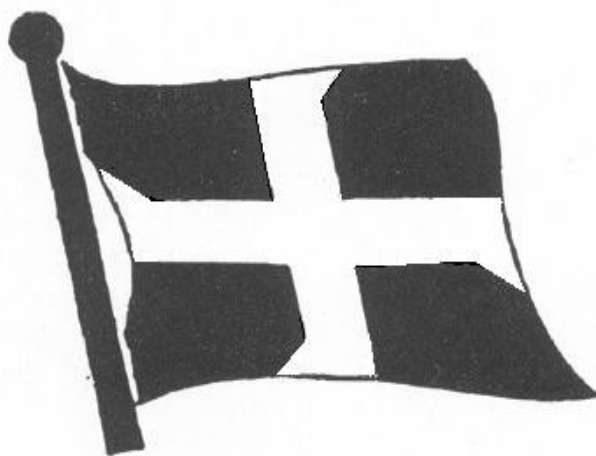


蒼穹NEWS

No.7

全日本大学駅伝号

平成26年10月27日発行



～～～目次～～～

1. 全日本大学駅伝への展望
2. 監督挨拶
3. 全日本大学駅伝の要綱
4. 全日本大学駅伝の出場校
5. 出場選手の紹介
6. 応援中の注意事項
7. コースマップ
8. 記録会などの結果

全日本大学駅伝への展望

秋晴れが爽やかで気持ちの良い季節になりました。来る11月2日、晩秋の伊勢路にて秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会が開催されます。大学駅伝日本一を決める、この最高峰の舞台に、京都大学は皆様の支えのお陰で41年ぶり2回目の出場をさせて頂くことができます。本大会が近づくとつれ、長距離一同改めてこのことへの感謝や喜びをひしひしと感じております。

6月8日の関西地区予選会が終わって以降、男子長距離は関西代表としての自覚、全国の舞台で戦うという覚悟、そして全日本という晴れ舞台を走りたいという意欲を原動力に、全員で協力して日々の生活や練習に取り組んできました。全日本の存在が皆を大きく成長させてくれたと実感していますし、春とは見違えるほどに成長してくれた選手が沢山います。そして何より、ここまで頑張ってくれた選手達には本当に感謝しています。

本大会での目標は大阪経済大学、第一工業大学に先着し総合18位となることです。全国の舞台で結果を残し、1区で区間賞を狙う平井健太郎や、5000m・10000mで自己新を更新した下迫田啓太。また、横山裕樹、平井幹、久好哲郎、不破祐太といった経験豊かな院生の成長・復調に、柴田裕平、山西利和ら力のあるルーキーの活躍など、見どころは枚挙に暇がありません。しかし大阪経済大、第一工大も強力な布陣であり10000m上位8名の平均タイムでは、この3校が非常に拮抗しています。京都大学としては前半型のオーダーを組んでいるため、前半で一気に加速し、駅伝における流れの利を活かした展開に持ち込みたいところでもあります。

当日は三連休の中日です。そのような中で現地まで足を運んで応援して下さい方には本当に感謝しており、頭が上がりません。またテレビ朝日系列にて7:00より生中継もして頂けるので、自宅にいらっしゃる方も画面を通じて心中で応援して頂けると有り難いです。蒼穹会の方々にはこのレースへ向け、様々な場面で激励の言葉を頂いてきました。資金面での多大な援助もして頂きました。この場をお借りして感謝の気持ちを申し上げると同時に、皆様に喜んでいただけるような熱いレースを展開することをここにお約束いたします。

それでは、当日は熱いご声援をよろしくお願いします。11月2日(日)午前8時05分、熱田神宮西門前出発です。

京都大学陸上競技部長距離パート長 平井 健太郎

監督挨拶

11月2日（土）、全日本大学駅伝が名古屋市熱田神宮から伊勢市伊勢神宮間にて開催されます。我が京都大学は42年ぶり2回目の出場となります。目標は全体18位、そして大阪経済大学、環太平洋大学に勝利することです。

今年のチームの見どころは、1区平井健太郎(3)です。今年の全日本インカレでは2位という好成績を残しており、区間賞に期待です。さらに、不破(M2)、久好(M1)、平井幹(M1)、横山(M1)など経験豊富な実力者を揃えられたことは本チームの大きな強みであり、今シーズン好調の下迫田(3)も控えています。

本大会の目標達成に向けて、平井健太郎率いる長距離チームはこれまで以上に走り込みを増やし、チームの結束を高めてきました。そして予選会の時に比べチームの地力も向上しています。大阪経済大学、環太平洋大学ともに強豪校ですが、ここで勝利し必ず目標を達成してくれるでしょう。

蒼穹会の皆様には日頃より多大なご支援・ご声援を頂き誠にありがとうございます。当日はご多忙と存じますが、応援は選手の力となります。是非とも沿道まで足をお運び頂き、ご声援を送って頂きますようお願い致します。

京都大学陸上競技部監督 堀田 孝之

・全日本大学駅伝の要綱

秩父宮賜杯 第46回全日本大学駅伝対校選手権大会

平成26年11月2日（日）午前8時05分スタート

区間	コース	距離
1	熱田神宮西門前 → 愛知県・弥富市筏川橋西詰(喫茶シャロウ前)	14.6km
2	弥富市筏川橋西詰 → 三重県・川越町高松(コマツリフト四日市支店前)	13.2km
3	川越町高松 → 四日市市六呂見町(山九四日市支店海山道倉庫前)	9.5km
4	四日市市六呂見 → 鈴鹿市寺家(中勢自動車学校前)	14.0km
5	鈴鹿市寺家 → 津市上浜町(焼肉きんぐ津上浜店)	11.6km
6	津市上浜町 → 松阪市曾原町(元ドライブイン三雲)	12.3km
7	松阪市曾原町 → 松阪市豊原町(JA松阪前)	11.9km
8	松阪市豊原町 → 伊勢神宮内宮宇治橋前	19.7km

※各中継箇所において先頭から10分遅れた場合は繰り上げスタートとなります。ただし第五、第六、第七中継所は15分となります。繰り上げの場合、白色のたすきでスタートとなります。

・全日本大学駅伝の出場校

〈出場校〉

1 駒澤大学	10 神奈川大学	19 立命館大学
2 東洋大学	11 順天堂大学	20 関西学院大学
3 明治大学	12 東海大学	21 京都産業大学
4 早稲田大学	13 上武大学	22 大阪経済大学
5 山梨学院大学	14 大東文化大学	23 京都大学
6 青山学院大学	15 城西大学	24 広島経済大学
7 札幌学院大学	16 中央学院大学	25 第一工業大学
8 東北大学	17 信州大学	26 東海学連選抜
9 日本体育大学	18 中京大学	(オープン参加)

・出場選手紹介

公式エントリー発表は11/1(土)の13:00となっておりますので、それまで出場選手の情報を外部に伝えることのない様お願い申し上げます。

(タイムは今期ベスト)

1区 平井健太郎(3) 10000m:28'36" 72 5000m:14'00" 92

1区は平井健太郎。彼は関西予選会以降、全日本の舞台で1区区間賞を取るためだけに日々を過ごしてきた。夏秋の記録会や日本インカレ5000mなど多くの物を犠牲にして、そのエネルギーを全日本へ向けた鍛錬に充てている。アジア大会日本代表にして、先日の箱根駅伝予選会でも個人トップを占めた村山紘太選手(城西大・4)は1区での起用が濃厚。彼との一騎打ちが予想されるが、チームのために、自分のために、我こそが日本学生長距離界のエースであるという走りを見せ、先頭で第一中継所に飛び込みたい。京大のみならず、全国の駅伝関係者・ファンから、その走りに注目が集まる。

2区 横山裕樹(M1) 10000m:29'49" 76 5000m:14'16" 23

研究との両立が忙しい院生にあって、安定して結果を残し、先日の記録会では5000mで自己新を樹立した横山裕樹が花の2区を務める。“花の2区”の言葉にふさわしく2区は各校のスピードランナーが集う区間。上位での襷リレーが予想される中、後ろから28分台の選手が猛追してくる展開は必至である。難しい展開となるが、横山はこれまでも格上のランナー相手に驚くような走りを幾度となく見せてきた。彼らしい粘り強い走り、そして関東勢を驚かせるような全国デビューを期待したい。

3区 久好哲郎(M1) 10000m:30' 59" 57 5000m:15' 00" 06

全区間中最短の9.5km、スピード区間を担うのはやはり大学院生の久好哲郎である。決して豊富な練習時間があるわけではない中で、限られた練習時間を上手く活用し、関西インカレや全日本予選会など要所要所で確実に結果を残してきた。今回も9.5kmという距離を見据えて確実に練習を積んできておりチーム内での信頼はピカイチである。ただ全日本ともなればこの区間でも29.00前後の選手が多く集うため、2区と同じく難しい展開になるのは間違いない。見えない中でも宿敵の大経大や第一工大を引き離す粘りの走りが求められる。

4区 下迫田啓太(3) 10000m:31' 16" 30 5000m:14' 44" 20

このあたりで関東勢にはほぼ追い抜かれ、関西のトップ三校が近づいてくるだろうか。距離も長く、プレッシャーもかかる難しい区間を任されたのはこの夏急成長を遂げた下迫田啓太だ。もともと1500mの選手。昨年までは5000mで精一杯。そんな彼がこの夏、4区で我慢するのは自分しかないかと腹を括り、長い距離の練習に必死で取り組んでくれた。タイムにこそあらわれていないが、長い距離に関しても学内3、4番手といえるだけの力は付いている。4区は各校中盤の勝負どころであり、28分台の強力な選手が集う。チームとして求めるのは自分が夏にやってきたことをすべて出し切り、関西上位三校に喰らいつく走りである。

5区 不破祐太(M2) 10000m:31' 26" 38 5000m:15' 37" 53

このあたりからつなぎの区間となってくるが、それでも11.6kmあるのが全日本。力のある選手を置きたいこの区間にはラストイヤーとなる不破祐太が任された。不破は今夏以降、長距離チームのため、駅伝のためという気持ちを前面に押し出し、多忙な中でも積極的に全体練習に顔を出してくれた。その背中で学部生を引っ張り、自分自身も得意とする3000mSCだけに留まらない長い距離の強さを身に付けてきている。駅伝は最上級生の想いで決まるという言葉は誰しも耳にしたことがあるだろう。単独走が予想される中でも、練習通り3.08~3.10のペースでしっかりと押していき、チームの目標達成に貢献したい。

6区 柴田裕平(1) 10000m:31' 40" 84 5000m:15' 07" 86

大経大、第一工大との競り合いが予想される区間。ここを力のあるルーキー柴田裕平が走る。夏こそ調子を落としていたものの、涼しくなるにつれ練習がこなせるようになり、秋の三連戦では3本ともしっかり結果を出してきた。一年生らしくのびのび、と言いたいところだが、力の面でもチーム事情からもそういう訳にはいかない。もともと能力が高く、来年以降チームの中心となっていく選手である。6区に求められる仕事は一つ。それは、練習通り確実に3.08~3.10のペースで刻み、何としてもライバル大経大や第一工大の前で七区に繋ぐという志事である。

7区 寶雄也(3) 10000m:31' 43" 15 5000m:15' 25" 89

京大にとって我慢の区間、7区。走るのは今回が初駅伝となる寶雄也である。10000mのタイムでは松葉(3)、高石(2)と拮抗。さらには国体の競歩で7位と結果を残した山西(1)もいる。その中で彼に7区が任された。安定感と積極性、そしてこの夏の努力は目を見張るものがあり、それを評価されての起用である。自らの努力で掴んだ晴れ舞台。生かすも殺すも自分自身。彼を知っている人は決して多いとは言えないだろうが、この大舞台で“これが寶雄也だ”という走りを見せてほしい。アンカーの平井幹が大経大、第一工大を逆転できる1分~1分30秒差で渡す。この至上命題は彼に託された。

8区 平井幹(M1) 10000m:30' 41" 29 5000m:14' 48" 02

最後の区間にして全区間最長の8区19.7kmはご存じ平井幹が務める。泣いても笑っても大経大、第一工大との勝負が決まるこの区間。長丁場でプレッシャーもかかる苦しい区間だが、任せられるのは彼しかいないと満場一致で決定した。シーズン前半ほど調子を落としていたが、秋になって徐々にリズムを取り戻してきている。概ね復調傾向であり、1分から1分30秒の大逆転は十分に可能。何よりこれまで積み重ねてきた実績と負けん気の強さはチーム一である。昨年チーフとして成し遂げられなかった打倒大経という目標を自らの手で掴みとってほしい。

・ 応援中の注意事項

当日の応援では以下のような行為はご遠慮ください。

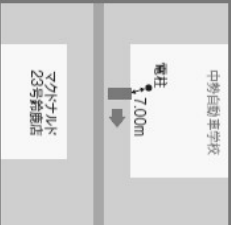
- ・ 体の一部（腕など）が車道に出る様な応援（応援は歩道でお願い致します）
- ・ 伴走しながらの応援
- ・ 車両を用いての伴走
- ・ 車両において車外に身を乗り出し、物品を突き出し、投げる等交通危険な行為
- ・ 車両から校旗、部旗などの旗幟を掲げ、あるいは学校を表示する標識を掲げる様な行為
- ・ 飲食物の提供、その他の助力的行為
- ・ 道に直接目印となるマーキング

・ コースマップ



14km 10:37 **第4中継所**

鈴鹿市寺家
鈴鹿市寺家1丁目1-20
中勢自動車学校
●近鉄「藤ヶ浦」下車
徒歩5分



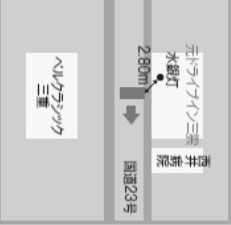
11.6km 11:11 **第5中継所**

津市上浜町
津市上浜町1-293
焼肉さんぐ津上浜店
●近鉄「津」または
JR「津」下車
徒歩10分



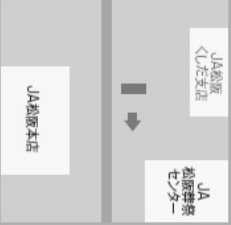
12.9km 11:47 **第6中継所**

松阪市豊原町
松阪市豊原町379
元ドライブイン三雲
●近鉄「津(東口)」下車
●JR「津」下車(天白1行
「小舟江」下車 徒歩5分



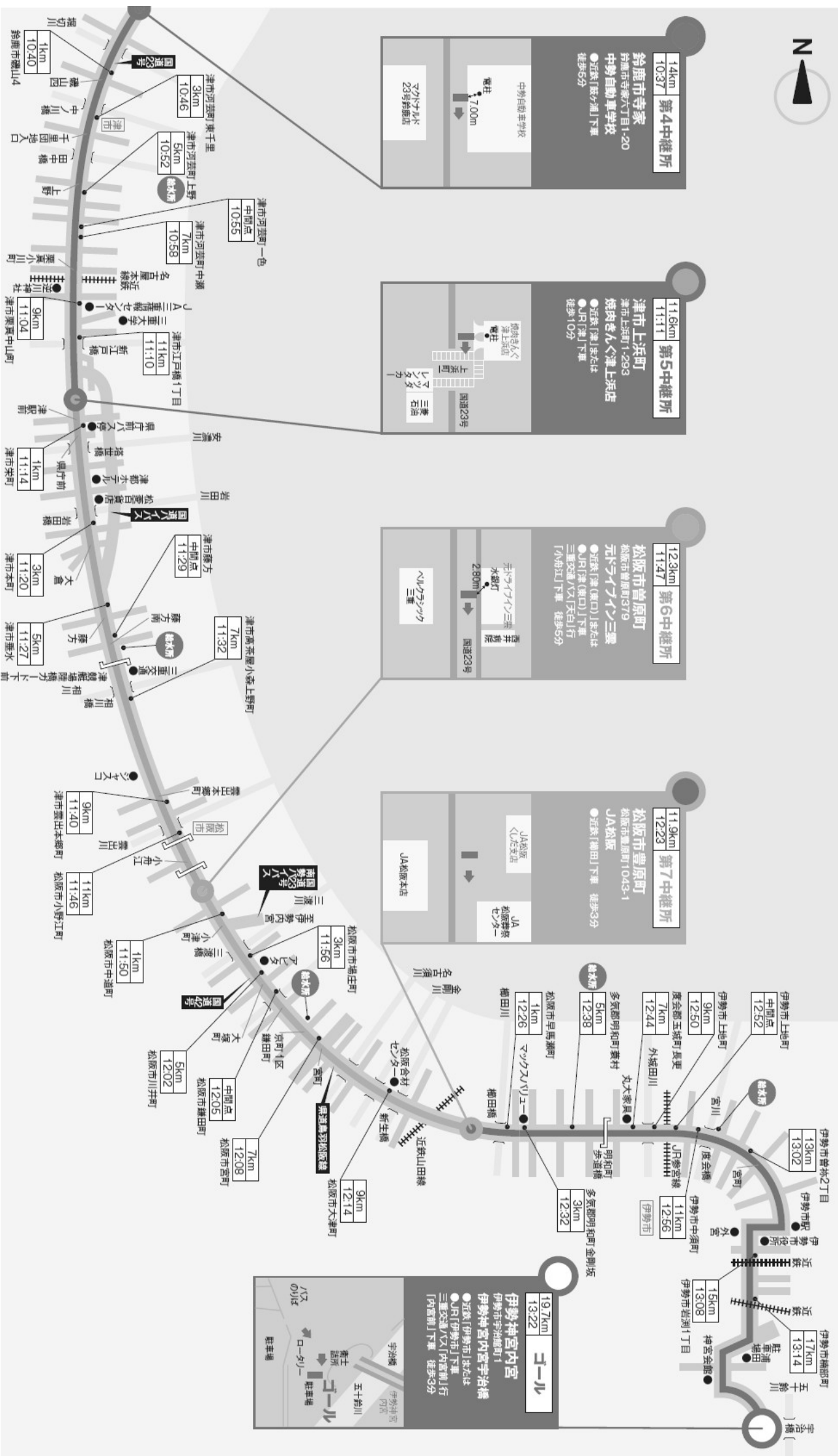
11.9km 12:23 **第7中継所**

松阪市豊原町
松阪市豊原町1043-1
JA松阪
●近鉄「津田」下車
徒歩3分



19.7km 13:22 **ゴール**

伊勢神宮内宮
伊勢市宇治橋町1
伊勢神宮内宮宇治橋
●近鉄「伊勢市」下車
●JR「伊勢市」下車
三重交通バス「内宮前1行
「内宮前」下車 徒歩3分



地図は全日本大学駅伝 HP より引用 (<http://daigaku-ekiden.com/coursemap/>)

なお、各中継所の先頭通過予想時刻は

第一中継所 8 : 48
第二中継所 9 : 27
第三中継所 9 : 55
第四中継所 10 : 37
第五中継所 11 : 11
第六中継所 11 : 47
第七中継所 12 : 23
ゴール 13 : 22

となっております。

より詳しい情報は全日本大学駅伝 HP (<http://daigaku-ekiden.com/>) をご参照ください。

・記録会などの結果 (9/27~10/13)

第239回日本体育大学長距離競技会 9/27~28 日体大)

▼800m

宿利 隆司 2.04.87

▼1500m

足立 涼 3.53.57 PB

岡野 颯斗 3.58.26

第4回京都産業大学長距離競技会 (9/28 京産大)

▼800m

友田 浩平 1.56.52 CB

山下 哲弘 2.02.31

永岡 源太郎 2.02.80 CB

神埜 勝 2.07.23

橋本 浩法 2.07.36 PB

▼1500m

河村 一輝 4.49.25 ♪

▼5000m

横山 裕樹 14.32.44

平井 幹 14.48.02

久好 哲郎 15.00.06

柴田 裕平 15.07.86 CB

久米 祐輔 15.19.58 PB

寶 雄也 15.25.89

辻田 智宏 15.28.12 PB

山西 利和 15.32.48

岡野 椋介 15.36.98

渡邊 駿 15.46.93

松葉 悠剛 15.50.76

中東 太一 15.54.22

足立 大宜 15.57.63 PB

新田 一樹 15.57.70

山下 弘輝 16.09.60 PB

小御門 道 16.14.00

我妻 総 16.49.27

川島 哲士 16.55.44

荒木 伸哉 16.59.03

森田 大地 17.02.61

第36回びわスポ記録会
(9/28 びわこフィールド)

▼100m		
佐藤 啓太	11.24	5.4
河野 慧	11.48	+2.4
西田 光治	11.48	+2.4
吉川 慶	11.65	-0.9
鈴木 將太	11.67	+2.4
小野坂 健	11.84	-0.9
清水 良輔	12.06	+2.6
森田 悠也	12.07	-0.2
栗田 京典	12.11	-0.2
▼200m		
庄司 溪	22.57	+1.6 PB
佐藤 啓太	23.36	+1.6
西田 光治	23.51	+1.9
小野坂 健	23.81	+1.9
鈴木 將太	23.82	+1.9
福島 快	24.56	-0.7 PB
栗田 京典	25.21	-1.8
▼400m		
吉川 慶	50.59	PB
岡部 龍樹	52.07	
天野 康平	DSQ	
▼110mH		
西田 光治	15.59	+1.7
▼400mH		
川崎 皓斗	61.86	
▼走高跳		
竹田 風馬	1.75	
森田 悠也	1.70	
▼棒高跳		
田中 皓介	4.30	
岡田 洋	3.80	
山木田 雅	3.20	PB
▼走幅跳		
西村 優汰	6.88	-1.5
澤 薫	6.42	+1.0 PB
福島 快	2.93	+1.2
山田健太郎	NM	
▼砲丸投		
神野 洋介	9.66	
▼円盤投		
神野 洋介	30.07	
西田 峻	25.57	
▼やり投		
神野 洋介	45.72	

関西学生長距離強化競技会
(10/8 住友総合グラウンド)

▼5000m		
岡本 和晃	15.50.42	
村瀬 颯登	17.02.02	PB
▼10000m		
横山 裕樹	29.49.76	
平井 幹	30.41.29	
久好 哲郎	30.59.57	PB
下迫 田啓太	31.16.30	PB
不破 佑太	31.26.38	PB
松葉 悠剛	31.39.25	PB
柴田 裕平	31.40.84	PB
寶 雄也	31.43.15	PB
高石 雅貴	31.46.30	
辻田 智宏	32.14.00	PB
稲垣 達也	32.25.85	PB
岡野 颯斗	32.27.66	PB
久米 祐輔	32.37.57	
毛芝 雄己	32.55.39	
渡邊 駿	32.57.06	
中東 太一	33.01.53	PB
岡野 椋介	33.08.08	
足立 大宜	33.28.71	♪
新田 一樹	33.34.70	
小御門 道	34.12.08	
我妻 総	35.04.22	PB
森田 大地	35.59.10	♪
川島 哲士	36.03.94	♪

第3回静岡県長距離強化記録会
(10/11 小笠山総合運動公園)

▼5000m		
平井健太郎	14.04.28	
横山 裕樹	14.16.23	PB
▽5000m		
岩橋 優	16.50.03	PB

兵庫陸上競技秋季記録会
(10/11~12 ユニバー記念競技場)

▼100m		
眞武 俊輔	10.91	+0.8
▼800m		
神埜 勝	2.08.15	
▼1500m		
友田 浩平	4.09.56	
▼3000mSC		
岡本 和晃	9.50.17	

▽800m
岡本萌巴美 2.34.05

▽1500m
岡本萌巴美 5.09.17

奈良県記録会
(10/11~12 橿原公苑)

▼100m
眞武 俊輔 11.06 -1.3
桶成 智彦 11.37 +4.4
神野 洋介 11.48 +3.4
柏本 知晟 11.49 +3.4
岡部 龍樹 12.08 -2.2
珍坂 涼太 12.10 -0.6

▼200m
眞武 俊輔 22.09 +0.2
神野 洋介 23.47 +3.2

▼400m
岡部 龍樹 51.17
眞杉 陸 51.66

▼走幅跳
神野 洋介 6.19 -1.9PB

第6回大体大中長距離競技会
(10/13 大体大)

▼800m
宿利 隆司 1.59.94
永岡 源太郎 2.03.22
見鳥 大樹 2.04.49
橋本 宏平 2.13.74

記号の見方

▼	: 男子種目	▽	: 女子種目
予	: 予選	準	: 準決勝
順位	: 決勝順位	II	: 2次レース
PB	: 自己新記録	CB	: 大学での自己新記録
♪	: デビュー戦		
蒼穹新	: 蒼穹新記録		
○	: 蒼穹ランク		

(記録を出した時点、20位まで)



蒼穹ニュース 平成26年度 第7号
平成26年10月27日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：足立涼・小野坂健・我妻聡（副務）
特別協力：阿邊啓明・宮垣寛之（学連員）
長崎裕貴（記録係）・佐藤啓太（HP係）
写真担当：金澤和寿美・見鳥大樹・福島快

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/>
陸上競技部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス s.wagatsuma2014fkm@gmail.com（我妻）